



常山議員の9月議会 一般質問から



「おでかけタクシー」の 見直しについて

(質問) 国や地方自治体は、そこに住む住民が自由に安心・安全に移動することができるために、地域交通に責任をもって整備し、その地域にあったものを実現する責務をおっています。

当町で始まった「おでかけタクシー」のタクシー代半額補助制度は、利用できる人や地域が限られ公平性に欠けます。

最寄りの駅やバス停から1km以上離れている条件をとり、どこに住んでいても利用できるよう見直す考えはありませんか。

(答 弁) 移動手段の確保が困難な高齢者の生活支援をはかることを目的として始めたものです。バス路線の運行維持をはかることから、見直しはせず現行通り続けます。

(再質問) この一年間の利用状況についておたずねします。

(答 弁) 平成25年3月末、対象者207名、うち申請者135名、実際利用した人は74名です。

(再質問) 「おでかけタクシー」の当初予算660万円、利用金額は72万8千円です。

一年間の利用者は74名です。これらの数字から「町民によく利用された」と考えますか。

(答 弁) いちがいには利用者が少ないから、いいとか悪いとか言い切れないと思います。

(再質問) 「人間が抵抗なく歩ける距離は400m程度」だそうです。1km近くの道のりを重い荷物をもって歩くのは大変きついことです。補助が出ない地域の対策は何か考えていますか。

(答 弁) 今がベストだとは思っていません。

いろいろ制度をつくっても利用されないのが現実。要望も聞いているが、いまずぐ具体的な策はとつていきませんか。

(再質問) 安心して住み続けられる町づくり、地域が活性化する町づくりのために、町の公共交通をどうするのか検討の場をつくっていただきたい。

(答 弁) 新たな公共交通の検討会議は考えていません。

自然エネルギーの 活用について

(質問) 福島第一原発事故以来、原子力発電に変わるエネルギーとして自然エネルギーへの転換が求められています。

行政と住民、専門家と一緒に自然エネルギーの活用を研究し、住民に情報を提供し、町全体で自然エネルギー活用をめざす町づくりをすすめていっていただきたい。

(答 弁) 町の住宅用太陽光発電の補助制度は6年目に入り、127件、1270万円の利用がありました。引き続き住宅用太陽光発電の補助を行います。自然エネルギー活用の研究会は考えていません。

福島にお米を届けました！

9/23 南相馬市へ

米1合・100円運動にご協力

有難うございました

皆野からお米約35kg分、14200円のカンパ
共産党北部地区委員会を通じて届けました

訂正 みんなの民報9月号外のなかで

しんぶん赤旗 日刊紙月4937円とありましたが

正しくは月3497円です

お詫びして訂正します

議員のからしき

常山 知子



先日、秩父地域振興センター主催「人を呼びこむためのまちおこし、地域おこし」というテーマの講演会がありました。

講師は、イーグルバス(株)社長の谷島賢氏です。(川越市に本社)この会社が川越市で取り組んでいる「小江戸巡回バスでの観光客へのおもてなし」や「観光資源を活用した地域活性化」など外からいかにして人を呼び込むか、そして地域の公共交通をいかに守るかという話でした。イーグルバス(株)が取り組んだ地域、ときがわ町のデマンド交通、これから取り組む東秩父村。

観光資源を生かし、地域の人たちの交通をどう確保するか、どんな取り組みになるか期待するところですが、皆野町9月議会でも地域交通をどうするか熱い議論がかわされました。イーグルバス社長いわく「一番大事なのは、みんなでどうするか考えることです」私も議会で町長にそんな質問をしたのですが……

